USB PD Power Supply Adaptor
PPS/EPR対応

じがへるつ工房

・USB PD対応パワーソースに接続し、パワーソースが対応した任意の電圧を取り出せます。
・パワーソースが対応しているUSB PD電圧電流情報 (PDO)も表示されるため、簡易的なパワーソースアナライザとしても使えます。
・1mA・1mA刻みの電圧電流測定機能も搭載し、出力電圧電流測定結果をリアルタイム表示します。
・PPSに対応し、0.1V刻みで任意電圧を取り出せます。
・最大28V・3Aまでの対応です (部品的には5A対応ですが、動作試験していません)。

○使い方
・USB PDパワーソースを接続すると電源が入ります。
・LCDの1行目には、接続したパワーソースが対応した電圧電流情報が表示されます。
・LCDの2行目には、現在出力されている電圧と電流の測定結果が表示されます。
・3番と4番のボタンを押して、出力したい電圧を選びます。4番を押すと高い電圧、3番を押すと低い電圧が選ばれます。決定は2番のボタンを押します。
・電圧出力中でも3番と4番のボタン操作は可能です。出力したい電圧を選び、2番のボタンを押すことで、出力電圧を変更できます。
・出力をオフにはできません。外部のスイッチ等を用いてください。

4番のボタンを押して12Vを選択し、2番のボタンを押すと、12Vが出力されます。

・PPS対応の電圧電流を選ぶと、1行目末尾にPPSと表示されます。この状態で2番のボタンを押すと、PPS電圧が出力されます。
・1番のボタンで1V上昇、2番のボタンで1V降下、3番のボタンで0.1V上昇、4番のボタンで0.1V降下、します。リアルタイムで反映されます。
・PPSから抜ける場合は、3番と4番のボタンを同時押しします。初期状態の画面に戻り、3番と4番のボタンを用いた電圧選択モードに戻ります。

PPS対応電圧を選ぶと、末尾にPPSと表示されます。表示された電圧と電流は、出力できる最大値です。

PPS電圧を選んだ状態で2番のボタンを押すと、PPS電圧が出力されます。1番と2番のボタンで1V刻み、3番と4番のボタンで0.1V刻み、の電圧調整ができます。PPSから抜ける際は、3番と4番のボタンを同時押しします。